

共に在る時を重ねていくほどに  
さらに離れがたさは増して

背当クッションカバー〈エリカチェア(アイボリー)〉(中)。サイズ:45×45cm。組成:表地・裏地/ポリエステル100% 日本製。16,500円。専用羽根中材は6,050円。マチ付きクッションカバー〈ヴェルゴラート(ブルーグリーン)〉(右)、〈同(ベージュ)〉(左)。サイズ:50×50cm。組成:ポリエステル100% 日本製。各14,300円。専用羽根中材(マチ5cm)は9,350円。  
\*税込。



川島織物セルコン

「Sumiko Honda」ブランドのクッションカバー

自然に育まれた地層を想わせる表情  
身体をゆだねてさらに知るその安堵感

写真=山口卓也

会社へはたまたま自宅から通えていたが、春から、息子の支社への異動が決まった。ひとり遅めの晩ごはんを終えてリビングのソファにドカッと身をゆだねると、「来月からこのクッションともしばらくお別れだなあ」と彼はしみじみつぶやいた。

そのやや少し大きめのクッションは昨秋買い求めた。〈エリカチェア〉の背当クッションだけではさびしく感じたので、同じ「Sumiko Honda」ブランドの一品、色違いをひとつずつ。マチ付きだから安定感がある。中身はフェザー100%。適度な弾力と厚みが備わる。中学生になるとすぐ私の背丈を抜き、高校卒業までにさらに10cm伸びた。比較的大柄な男性がもたれ掛つても、身体を支えてくれるようで、リビングではつねにクッションと共に在る。抱きかかえることも。そんな時は安らぎを覚えてい

るのだろう。

などと勝手に想いながら、キッチンから息子の後頭部を眺めていた。そして決めた。赴任先へクッションを持つて行かせよう、と。ただ、使い慣れたお気に入りをもそのまま渡すというのは、それが我が家のお気に入りでもあるからだめた。困る。单身、新たな生活を始めるのだから、やつぱりこは新品をもたせよう。

クッションカバーのファブリックは〈ヴェルゴラート〉。イタリア語で「色合いが微妙に変化する」という意味だ。やわらかな光沢糸と素材感のある糸をミックスしたジャカード織物で、椅子張り地にも使用される、川島織物セルコンならではの品質。出会ったショップで試しに我が身をあずけてみると、受け入れられる心地がした。そして、我が家に連れて帰ったのだ。

彼が、ときどき自宅の居心地の良さを思い出してくればありがたい。

背当クッションカバー〈エリカチェア(ピンク)〉(中)。16,500円。マチ付きクッションカバー〈ヴェルゴラート(ピンク)〉(右)、〈同(ライトグレー)〉(左)。各14,300円。\*いずれもカバーのみ、税込。



商品に関するお問い合わせ

株式会社川島織物セルコン  
03-5144-3840(月・金 10:00~15:00)  
www.kawashimaseikon.co.jp/



Excellence  
we  
love